

活動名(教科) まちたんけんの発表をしよう (生活)
対象学年 2年
実施期間 10月中旬～
実践者(所属) 川村 昌弘 (末長小)

1. 指導に当たって

(1) この単元の特徴や指導の難しさ

○今までの経験では、自分の調べたことをどの方法で発表すると分かりやすいか、わからない児童が多いのであらかじめ指導が必要である。

(2) それを克服するためのICT機器やメディアの活用(利用の意図と工夫)

○教師が、発表の方法を児童に実演し、どうしてこれが効果的なのか指導をする。

○事前に、今までの学習発表会などのVTRを見せるなど視覚に訴えるのも効果的である。

2. 単元の主な目標

○町探検を通し、町の人と適切に関わり、町の良さや気付いたことを、友だちにわかるように伝えることができる。

3. 指導計画の概要(20時間)

時間	学習内容	児童の活動(利用メディア)	指導の留意点
4	○課題選択・作成 ・見学する場所を決めグループに分かれ計画を立てる。	・春の町探検の時のVTR 春に行った町探検(クラス別で行ったもの)のVTRを視聴し、町に何があったか想起する。 ・学区地図を拡大したものを使い、(事前に見学場所を書き込んでおく)ルートを決める時に参考にし、計画を立てる。	・ワークシートを用意し、見学の計画を立てやすくする。 ・VTRを視聴させることにより、町の様子を想起し、計画を立てやすくしておく。
3	○課題追求I ・見学場所の人と話したり、インタビューしたりして町の様子をよく見てくる。 ・お世話になった人へ手紙を書いて、感謝の気持ちを表す。	・保護者のボランティアの方を頼らず、町探検をする。 ・計画に基づき、インタビューをする。わかったことはメモをとる。 ・お礼のお手紙を書く。	・教師は、担当エリアを決め、児童が見学する場所の写真をデジタルカメラで撮っておく。 ・ワークシートを用意しわかったことをメモさせる。
10	○課題追求II ・町探検で発見したことや体験したことを、みんなに知らせる。	・教師が示した発表方法(クイズ・ペープサート・プレゼンテーション等)を参考にし、発表方法を決め準備を進める。	・児童が発表方法を理解しやすくするために、簡単なプレゼンテーションやペープサートを作っておく。
3	○学習のまとめ ・友だちの発表を聞いたり、自分で発表してわかったことをまとめる。	・学習カードにわかったことを書く。	・学習カードを用意し、自分の気づきをまとめやすいようにしておく。

4. 取り組み後の子ども達の変容や成果

導入で、VTRを視聴したり、学区の拡大地図を活用したことにより、計画は子ども達だけでスムーズに行うことができた。また、発表方法を事前に見せることにより、初めての発表であったが、自分たちで今できる発表をしようと自分たちなりの発表方法を選ぶことができた。3年生での総合的な学習につなげることができたと思う。